

海事法研究会誌

11
2016

論文	○ 英法準拠契約での「間接損害免責」規定の効果を考える Transocean Drilling U.K.LTD v Providence Resources PLC [2016] EWCA Civ 372 の検討	星誠…2
解説	○ 早稲田大学海法研究所外国海法研究会 ○ 中国法における海上物品運送契約（2）	箱井崇史…13 張秀娟
研究ノート	○ 英国仲裁法紹介 第2回 国際商事仲裁のキーワード(2) —国際仲裁と Lex Arbitri—	黒澤謙一郎…25
判例研究	○ 共同海損と実務 (General Average: Law and Practice (No.1))	森明…40
連載	○ 海外判例紹介 (51) ◇ 海賊にハイジャックされた本船の解放交渉中に支出した費用は共同海損として認容されるか ◇ 貨物受取拒否により埠頭に放置されたコンテナ・デマレージを何時まで請求できるか ◇ マグロ生魚入り生簀に対する攻撃を受けた養殖業者は、Sea Shepherd の運航船舶の登録船主に損害賠償を請求できるか ◇ アデン湾で待機中に海賊に襲われ機関室が爆発炎上した本船の推定全損が成立したか	高坂昌明…55
仲裁判断	○ 機船 D 貨物運送契約紛議仲裁判断 (TOMAC-2008006) (2011年3月8日判断)	57
判例紹介	○ 引船列に漁船が衝突した事故において引船列に過失が存在したか（第1審） (山口地方裁判所萩支部、平成27年2月6日判決)	63
連載	○ 海運集会所書式・仲裁・鑑定関係会議日誌	75

